

2026 年 10 月 6 日

Green Earth Institute 株式会社

(コード番号：9212 東証スタンダード)

BioJapan 2026 NEDO ブース出展のお知らせ

～バイオフィアウンドリ拠点、製紙産業由来資源や純国産木材を活用したバイオものづくりの 取組みを紹介～

2026 年 10 月 7 日（水）から 10 月 9 日（金）までパシフィコ横浜で開催される「BioJapan 2026」の NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）ブースにおいて、Green Earth Institute 株式会社（以下「GEI」）が参画する 3 つの取組みが展示されます。

いずれの展示も当社が中長期ビジョンで掲げている「バイオものづくりにおける統合型産業プラットフォーム」の在り方をご紹介する内容となっております。

是非ご来場ください。

開催概要

会期：2026 年 10 月 7 日（水）～10 月 9 日（金） 10:00～17:00
会場：パシフィコ横浜「BioJapan 2026」
展示場所：B ホール NEDO ブース（B-72）内
NEDO 展示テーマ：バイオで培う、次世代の産業基盤
入場：完全事前登録制

展示内容

1. 関東バイオフィアウンドリ拠点ーバイオフィナリー技術のプラットフォームー

NEDO ブースの「プラットフォーム」カテゴリにおいて、微生物を活用したバイオものづくりの研究開発と社会実装をつなぐプラットフォームとして、GEI が運営しているバイオフィアウンドリ研究所の機能をご紹介します。



バイオフィアウンドリ研究所全体



300L 発酵槽

2. 製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の生産実証

GEI は、大王製紙株式会社（以下「大王製紙」）とともに、NEDO「バイオものづくり革命推進事業」において、木質パルプ、古紙、ペーパースラッジ等の製紙産業由来資源を活用したバイオ燃料及び糖液の製造技術開発と事業化検討を進めています。

NEDO のブース内において、大王製紙と GEI が共同で、バイオ製品のサンプルを展示し、製造技術や事業構想、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取組みをご紹介します。

3. バイオエタノール製造プロセスの確立・社会実装の実現

－ 純国産木材の活用・GHG 排出量極小化 －

GEI は、日本製紙株式会社（以下「日本製紙」）及び森空バイオリファイナリー合同会社とともに、国産木質バイオマスを原料とする低炭素バイオエタノールの製造プロセス確立と社会実装を進めています。

NEDO ブース内において、本プロジェクトの進捗をご紹介します。

本プロジェクトでは、日本製紙の岩沼工場におけるセミコマーシャルプラントで、2027 年に年間 1,000kL のバイオエタノール生産の稼働開始を予定しています。純国産木材の活用と温室効果ガス排出量の低減を両立し、SAF をはじめとする幅広い用途への展開を目指しています。

GEI は、今回の展示を通じて、バイオものづくりの開発基盤から、製紙産業由来資源及び国産木材を活用したバイオリファイナリーの社会実装までをご紹介します。共同研究、製造委託、事業連携等にご関心をお持ちの皆様のご来場をお待ちしております。

関連情報

- ・[BioJapan 2026 公式サイト](#)
- ・[NEDO「BioJapan 2026」への出展](#)
- ・[大王製紙株式会社「BioJapan 2026 出展のお知らせ」](#)

お問い合わせ先

Green Earth Institute 株式会社 IR 担当

mail : gei_ir@gei.co.jp

以上